



第37回日本診療放射線技師学術大会  
第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会 (23rd AACRT)  
第28回東アジア学術交流大会 (28th EACRT)



第4回 東京への道 Go To TOKYO



副会長 麻生 智彦

(公益社団法人東京都診療放射線技師会)



## 「江戸 (EDO) へ御座有れ」

第4回は、「江戸」をテーマにご案内することにしよう。江戸といえば徳川家であろう。戦国の時代を安寧な時代に築き上げたことは、誰もが知るところである。この「江戸」という地名の発祥はいつであろうか。語源は「水のあるところ」や「川の入江のあるところ」という意味らしい。また「江戸」はアイヌ語の岬を意味する「エト・エツ」に由来するという説もあるようで、平安時代後期の武蔵国の江戸氏の一族がルーツとなる説が有力で、歴史書にも「江戸郷」という地名で記されるようになった。



江戸城最古の現存建造物の田安門 (千代田区)



忠臣蔵の討ち入りで有名な吉良邸跡 (墨田区)

さて、時代劇といえば江戸時代を舞台にした『水戸黄門』『大岡越前』『暴れん坊将軍』などのTV番組から、『忠臣蔵』『大奥』『影武者』などの映画に至るまで、数え切れないほどである。さらに最近では、現代と江戸時代をタイムスリップする作品、『幕末高校生』『-JIN- 仁』『江戸モアゼル』など興味深いものがあり、その中でも医療が題材となった『-JIN- 仁』は必見であろう。細かくは語らぬが、江戸時代後期にタイムスリップした主人公 (医師) が出くわすのが「コロリ」という病気 (現代でいうコレラ菌) である。当時はワクチンもなく、治療しなければ患者は数時間のうちに死亡することもあり

疫病として恐れられていたが、現代医学の知識を持った主人公が「病人との隔離」「生ものは食べない」「身体と衣服を清潔にする」など、当時、可能な措置と具体的指示で災難を回避していくのである。そう、ピンときた方もいるかと思うが、感染拡大防止策で、昨年からの問題となっている新型コロナウイルス感染症と状況は一緒であり、何の因果なのか「コロリ」と「コロナ」は一文字違いでもある。

とりわけ、なぜ江戸時代を身近に感じるのか。それは幕末から150年しか経過していないこと、急速に経済や文化が発達したこと、それ故、いまだに数々の史跡が現代にも垣間見られることからであろうか。であれば、ぜひ、皆さまには江戸の歴史を身近に体感いただけるよう、TVや映画を通してイメージとキーワードを持って、江戸 (EDO) にお越しいただきたいと御座候。



江戸の全てが詰まった江戸東京博物館 (墨田区)